

# 競技注意事項

1. 本競技会は、2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則に準じ、その他は大会要項及び申し合わせ事項によって行う。
2. 本競技会は新型コロナ感染拡大防止の見地から**安全・安心できる競技会を目指し**、開催します。競技者・競技役員・補助員以外は競技場への立ち入りを禁止します。 ※ 入退場時は「3密」を避けるために、陸上競技場の安全な使い方に従うこと。
3. トラック競技は1レースのみ、走高跳を除くすべてのフィールド競技は3回の試技とします。
4. 招集は現地集合(スタート地点・競技ピット)とし、招集時間及び完了時間は、競技開始時間を基準とし、以下のとおりとする。招集時刻に遅れた者は棄権したものとみなします。

種 目	招 集 時 間	備 考
トラック各種目	競技開始の15分前完了	タイムテーブル参照
フィールド種目	競技開始の40分前完了	練習試技は現地で行う

リレー種目については、各チームが自分の組・レーンを確認し、第1走者のみがスタート地点で招集を受けること。

リレーのオーダー用紙は**第1組目招集完了時刻の1時間前まで**に競技係(正面玄関)へ提出すること。

一度提出したオーダー用紙は招集完了時間前であっても差し替えが出来ないので注意すること。

リレーのマーカー(最大50mm×400mm)は各チームで用意すること。レース後は参加チームが責任をもって撤去すること。

5. アスリートビブス(ナンバーカード)は、所定の登録番号(中体連・高体連・一般)とし、各自で用意すること。

**ジュニアの部に出場する競技者は川越陸協ホームページに記載されたレーンナンバー(プログラムにも記載)**とする。

競技者は競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス(ビブス)をつけてください。跳躍競技においては胸または背につけるだけでよい。また**800m以上**の距離の種目に出場する競技者は川越陸協ホームページおよびプログラムに記載された腰ナンバー標識(レーンナンバー)も用意し、身体の右腰部につけて出場すること。

その際、**文字は太くはっきりと一見して確認できるもの**を用意すること。

6. 走高跳のバーの上げ方については、競技者の自己記録を考慮し、決定する。

7. スパイクピンの数は11本以内で長さは9mm以内、(ただし走高跳・やり投は12mm以内)とする。また、先端近くで、長さの半分は4mm四方の定規に適合したもの。靴底と踵(スパイク・ランニングシューズを含む)についてはTR5.5及びTR5.13に適合し、規則に適合したものを使用すること。(非適合の靴の使用は認められない。)

8. ウォーミングアップでバックストレッチを利用する場合はマーシャルの指示に従い、競技場の安全な使い方を遵守すること

9. 投てき器具(やり)は2個まで検査をして使用することができる。競技開始時間の90分～60分前にフィニッシュ地点横の用器具庫へ持参して検査を受けること。(その場合のみ第2ゲートからの入場を認めますので競技役員にその旨を申し出る。)

10. その他

① 競技中に発生した事故等について、応急処置は主催者で行うが、以降の責任は負わないものとする。

② 記録の発表は、アナウンス並びに受付テント付近に掲示します。

競技会結果につきましては、川越市陸上競技協会のホームページ等に後日掲載します。

③ 悪天候の場合、競技の一時中断や中止の判断を主催者側がする場合がありますのでご理解下さい。また雨天走路をダッグアウトとして使用することはできません。雨天時等につきましては主催者側で指示します。

④ 円滑な競技会運営をするために競技役員編成表に記載されている学校は補助役員としてご協力をお願いします。

⑤ 各自で出したゴミは**自己処理の原則**としますので、各自でお持ち帰りをお願いします。

⑥ 自転車については指示された場所に駐輪し、点字ブロック上に置いたり、通行の妨げとならないようにして下さい。

⑦ 物品及び貴重品の管理は各自の責任において行い、紛失・盗難には十分に注意すること。

⑧ 競技終了後は混雑を避けるために速やかに帰路についてください。

**※ 競技会参加者は競技者・指導者向け日本陸連・競技会参加についてのガイダンスを理解のうえ、参加すること。**